

公表		事業所における自己評価総括表		
○事業所名		とちの木豊岡		
○保護者評価実施期間		2026年 5月 1日	～	2026年 5月 31日
○保護者評価有効回答数		(対象者数) 15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間		2026年 5月 1日	～	2026年 5月 31日
○従業者評価有効回答数		(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日		2026 年 6 月 1 日		
○ 分析結果				
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる生活環境と、手厚い職員体制が整っていること	障害特性に応じた構造化やバリアフリーへの配慮を行い、清潔でこどもの活動に合わせた空間づくりに努めている。職員配置も十分に確保している。		こどもの状態や活動内容に応じて空間を柔軟に活用するとともに、日によって偏りのある職員配置を平準化し、より効果的な体制づくりを図る。
2	アセスメントに基づく専門性のある個別支援が提供されていること	こどもと保護者のニーズを客観的に分析して個別支援計画を作成し、職員間で共通理解を図りながらチームで支援を実施している。日々の記録と振り返りを徹底している。		標準化されたアセスメントツールの活用を進め、定期的なモニタリングと計画見直しの質をさらに高めていく。
3	共感的な関わりと、保護者が相談しやすい信頼関係が築けていること	一人ひとりに共感的に寄り添う支援を行い、日頃から保護者と状況を伝え合うとともに、相談や申入れに迅速かつ適切に対応する体制を整えている。		面談など定期的な相談機会の充実を図り、引き続き保護者との信頼関係を深めていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや、保護者・きょうだい同士の交流機会が十分でないこと	ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや、保護者会・きょうだい支援の機会が十分に設けられておらず、保護者への周知も不足している。		家族支援プログラムの導入・実施を検討するとともに、保護者同士やきょうだいが交流できる機会を計画的に設け、その内容を保護者へ周知する。
2	非常災害時・緊急時の対応や訓練について、保護者への周知が不足していること	避難訓練やマニュアルの整備は行っているが、実施状況や内容が保護者に十分伝わっておらず、事故等発生時の連絡体制への理解も得られていない。		定期的な避難・防災訓練の実施状況や安全計画を分かりやすく周知し、事故・緊急時の連絡体制について改めて説明する機会を設ける。
3	事業所の活動や取組に関する情報発信・見える化が十分でないこと	通信やHP・SNS等による活動概要や自己評価結果等の発信が十分でなく、地域に開かれた運営の取組も限られているため、保護者に取組が伝わりにくい。		通信やHP・SNS等による定期的な情報発信を充実させ、自己評価結果や行事予定等を分かりやすく公表するとともに、地域住民との交流の機会づくりを進める。

		公表		保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		とちの木豊岡						公表日	2026 年 6 月 1 日			
								利用児童数	15	回収数	12	
		チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。			12							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。			12							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。			12							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。			12							
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。			12							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。			12							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。			11	1						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。			12							
保護者への説明等	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。			12							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。			11		2					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			11		2					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。			11							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。			11							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			5	1	5					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。			11							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。			11		2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。			12							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			8		4					
非常時等の対応	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。			12							
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。			12							
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。			9		3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。			12							
満足度	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。			11		1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。			6		6					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。			12							
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から迷やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。			8	2	2					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。			11	1						
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。			11	1						
	29	事業所の支援に満足していますか。			11	1						